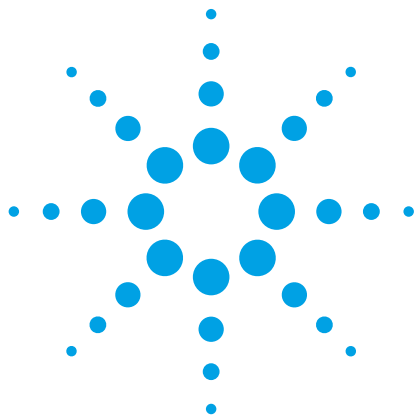




Agilent OpenLAB ECM Intelligent Reporter

分析ラボの複雑なレポート作成ニーズに応える、
使いやすいソリューション



特長

- ・レポート作成に求められる煩雑な作業を大幅に低減
- ・インテリジェントなレポート作成により、レポートのレビューおよび承認の品質を向上させ、所要時間を短縮
- ・分析をより分かりやすく、さらに投資効率も最適化

レポート作成—— 分析ラボのボトルネック

分析ラボのレポート作成は、きわめて時間のかかる業務です。レポート作成業務では、柔軟性の高い開発レポートから、規制当局のガイドラインを遵守した複雑で計算の多い QA レポートまで、さまざまなレポートが求められます。分析結果を Microsoft Excel などのアプリケーションに転送し、最終レポートを作成しなければならないこともしばしばです。

ミスを少なく、迅速にレポートを作成

新しい OpenLAB Enterprise Content Manager (ECM) Intelligent Reporter は、分析ラボの最終レポート作成を迅速化し、規制要件のコンプライアンスを支援します。柔軟性の高いクエリベースの結果選択が可能で、リレーショナルデータベースで提供されるデータ整理や結果表現などの利点をすべて備えています。

レポート作成の問題を解決する 新たなアプローチ

Agilent OpenLAB ECM Intelligent Reporter は、OpenLAB (ECM) に保存されたクロマトグラフィデータに使用できるサーバー一括管理のレポート作成アプリケーションです。使いやすいアプリケーションで、以下の 3 つのステップで複雑な分析結果のレポート作成を支援します。

ステップ 1 – 内蔵のレポートテンプレートを使用し、直観的なグラフィカルレポートテンプレートエディタにより独自のテンプレートを作成

ステップ 2 – 簡単なデータベースクエリにより、ラボ全体のクロマトグラフィデータから必要なレポートコンテンツを選択

ステップ 3 – レポートを作成

**たった 3 つのステップで、
簡単にレポートが完成します！**



Agilent Technologies

Agilent OpenLAB ECM Intelligent Reporter

幅広いレポート作成機能

- あらゆる標準的な結果計算や高度な結果計算に対応するカスタム計算
- クロマトグラム、スペクトル、検量線を盛り込んだシングル注入レポート
- 統計的手法および計算を用いたシーケンスサマリーレポート
- 経時的な結果や複合分析の結果を統合
- 溶出試験などの複雑なレポート
- シーケンス間サマリーとトレンドチャートレポート

インテリジェントなレポート作成

- 解析結果やパラメータを用いた対話形式のレポート作成
- 異常値や規格外の値を表示
- 検索ベースのレポートコンテンツ選択
- 主要結果を視覚化し、直観的なレポートを作成
- ユーザーの判断にもとづく結果の提示
- 情報の表示／非表示の設定が可能な対話方式のレポート要素
- アジレントが提供する完璧な IQ/OQ

おもな特長

迅速で柔軟性の高い、 高品質のレポート作成

Agilent OpenLAB ECM Intelligent Reporter は、以下の機能を備えています。

- ECM 管理、ECM 使用に関するレポート
- 検索ベースのレポート作成
- 簡単な計算および高度な計算
- トレンドチャート
- Agilent ChemStation、Agilent ChemStore、Agilent OpenLAB Instrument Control Manager (ICM) の分析結果データをサポート
- 拡張可能な ECM ベースのレポート作成インフラ
- データベースを利用し、Oracle または MS SQL Server を用いた ECM システムのレポートを作成
- ECM のレポートテンプレートの管理および定義のフィルタリング

使いやすいレポートテンプレート エディタ (RTE)

- WYSIWYG レポート作成 – ディスプレイ内容と印刷結果が一致
- Agilent OpenLAB ECM Intelligent Reporter クライアントで選択したデータを用いた個別タグのレポートプレビュー
- Agilent OpenLAB ECM Intelligent Reporter クライアントに直接組み込まれた新エディタ
- 表、シグナルプロットなどのあらかじめ設定された多数のレポートアイテムにより、テンプレート作成が迅速化および単純化
- テンプレート編集への ECM アクセス権限

アジレントのソフトウェアソリューションと シームレスに統合

Agilent OpenLAB ECM Intelligent Reporter:

- Agilent ChemStation または Agilent OpenLAB Instrument Control Manager (ICM) と統合し、各アプリケーションから直接レポート作成が可能
- Agilent OpenLAB ECM または ECM Workgroup に保存されたクロマトグラフィ分析結果のレポート
- レポート、テンプレート、クエリを安全に保存し、履歴管理を維持

new

リビジョン 2 の新機能：

- クロマトグラム、スペクトル、検量線などのグラフのレポート作成
- 使いやすいレポートテンプレートエディタ
- 分析結果へのアクセスを迅速化するクイッククエリ機能

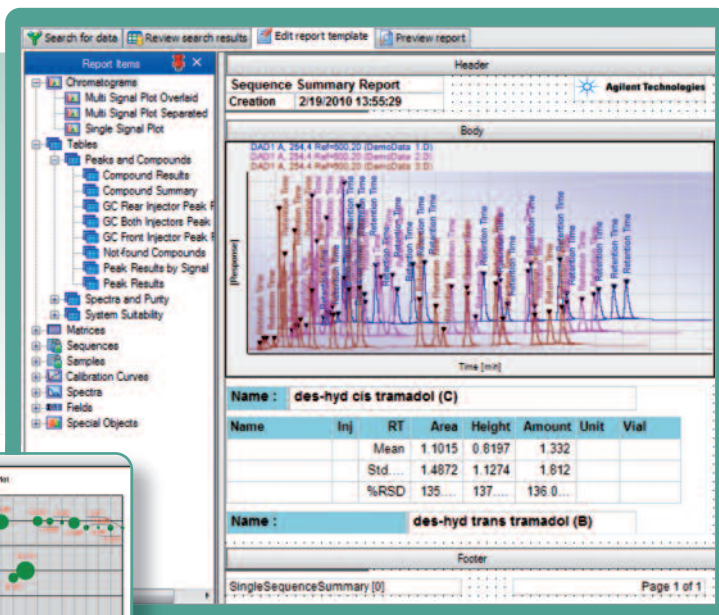
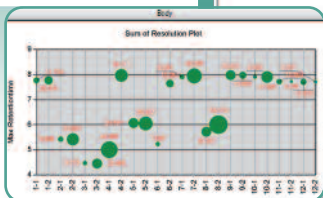
使いやすさを追求しました

パワフルでフレキシブルなレポート作成

ディスプレイ内容と印刷結果が一致

- ・内蔵のレポートアイテムをドラッグ＆ドロップでレポートテンプレートに追加
- ・レポートアイテムは、シンプルな1行のテキストフィールドにすることも、テキストフィールドや表、シグナルプロットなどのレポートアイテムを組み合わせることも可能
- ・レポートアイテムは OQ に影響を与えずに既存の設定に簡単に追加することが可能
- ・レポートプレビューにより、レポートテンプレートデザインを簡単に確認

バブルチャート によるスマートな データ視覚化



WYSIWYG 編集画面

- ・シングルまたは複数の注入から、シングルまたは複数のシグナルのレポートを作成（シーケンスをまたいだ注入にも対応）
- ・重ね表示、個別表示、層状表示などのレイアウト
- ・シグナルのスクーリング、グループ化、ラベリングなどに関する幅広いオプション（カスタムピークラベル式）
- ・サンプル名、シグナル名などによるシグナルのフィルタリング

あらゆる業界に幅広く適応

Agilent OpenLAB ECM Intelligent Reporter は、化学業界や製薬業界の QA/QC および研究開発ラボのレポート作成ニーズに応えます。溶出試験、メソッド開発、精油所ガス分析などのレポートを作成することができます。

フレキシブルなレポート作成

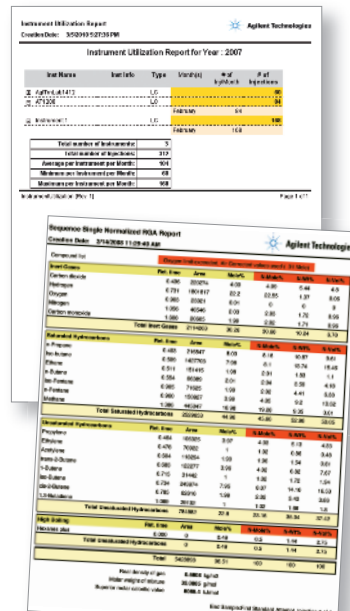
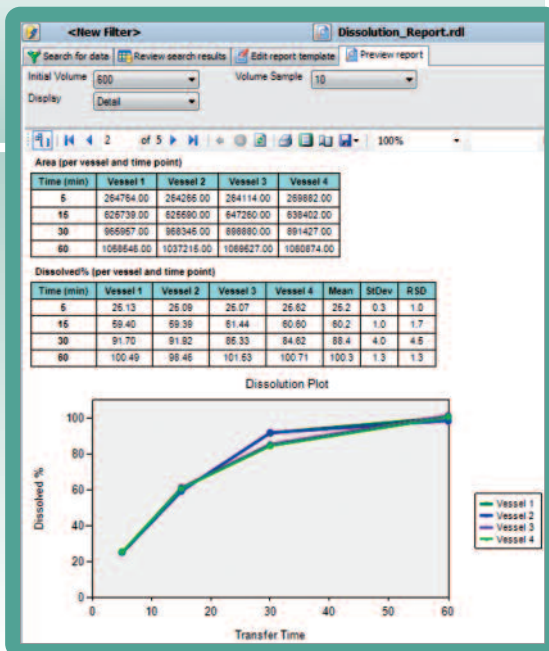
- ・レポートカテゴリー1つにつき1つのテンプレート
- ・変数（図のサンプル量など）
- ・変数セクションに入力する分析特有の値
- ・1つのテンプレートからカスタムメイドできるレポート

内蔵計算モジュールを用いたパワフルなレポート作成

Agilent OpenLAB ECM Intelligent Reporter では、複数のサンプル成分について、計算モードを自由に組み合わせることができます。

例：溶出試験

- ・総合的な計算機能を使用
- ・カスタム計算結果のみを表示
- ・グラフを用いて分析結果を視覚化
- ・1ページの最終結果サマリー



Agilent OpenLAB ECM Intelligent Reporter は、ラボ資産活用や精油所ガス分析 (RGA) などの化学アプリケーションにも使用できます。

分析結果の迅速なレビューと承認

迅速な分析結果レビュー

Agilent OpenLAB ECM Intelligent Reporter を使えば、結果の合格/不合格、限界値の超過、最終レポートで定義された値とその他の比較などをマーキングすることが可能です。限界値はあらかじめ定義することも、結果から動的に抽出することもできます。

迅速なレビューと承認

電子レポートレビューやレポート管理に備え、レポート、テンプレート、クエリを履歴管理により安全に保存することができます。Agilent OpenLAB ECM では、カスタムデザインのビジネスプロセスに従って、レポートのレビューと承認を自動化することが可能です。この自動化により、レポートのレビューと承認にかかる時間を、数週間単位から数日単位に短縮できます。

まとめ

Agilent OpenLAB ECM Intelligent Reporter は、他のクロマトグラフィレポート作成パッケージよりも多くの機能を備え、以下を実現します。

- ・システム内にある最終レポートの組み立てを自動化
- ・経時的な結果やシステム間の垣根を越えての結果の統合
- ・アジレントの提供する単一のアプリケーション内での分析リソース管理を促進

The screenshot displays a detailed report titled 'Sample Test' with columns for Sample 1 through Sample 6. It lists various parameters such as 'Impurity: desferal', 'Impurity: desferal (A)', 'Total Impurity (%)', and 'Main compound'. Each parameter has associated values for the samples and comparison limits. The report also includes a 'List of NOT found compounds in sample' and 'Agilent rules for above sample tests'.

不純物プロファイリングレポート：限界値を超えたセルが赤でマーキングされ、結果が一目でわかります。

サポートする必須の構成：日本語はサポートしません。ご注意ください。

データ取り込みアプリケーション		
Agilent ChemStation リビジョン: ・ Rev. B.03.02 以上、ただし英語バージョンのみ	または	Agilent OpenLAB ICM Server: ・ Microsoft Windows 2003 Server Standard または Enterprise Edition SP2 (英語版) ・ Agilent OpenLAB ICM、rev. 3.3.2 SP2 以上
データ管理システム		
Agilent OpenLAB ECM: ・ Microsoft Windows 2003 Server Standard または Enterprise SP1/SP2 (英語版) ・ Agilent OpenLAB ECM Enterprise ソフトウェア、rev. 3.3.2 SP1	または	Agilent OpenLAB ECM Workgroup: ・ Microsoft Windows 2003 Server Standard または Enterprise SP2 (英語版) ・ Agilent OpenLAB ECM Workgroup ソフトウェア、rev. 3.3.1 (ビルド 358) および rev 3.3.2 SP1
OpenLAB ECM データベース		
Oracle: ・ Oracle Database 10g (10.2.03. または 10.2.04) (英語版) ・ Agilent OpenLAB ECM Enterprise データベース、rev. 3.3.1 (ビルド 251) または 3.3.2 SP1	または	MS SQL Server: ・ MS SQL Server 2005 Standard または Enterprise SP3 (英語版)

ソフトウェア要件

Microsoft Windows 2003 Server Standard または Enterprise SP2 (32 ビット)、英語 (米国) Microsoft SQL Server 2005 Standard または Enterprise SP3. Microsoft Business Intelligence Studio (SQL サーバソフトウェアを搭載)。

Microsoft はマイクロソフト社の商標として米国で登録されています。Oracle はオラクル社の商標として米国で登録されています。

www.agilent.com/chem/jp

本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社
 © Agilent Technologies, Inc., 2010
 Published in Japan, April 1, 2010
 Publication Number 5989-9898JAJP



Agilent Technologies